

## 富山県こどもみらい館の概要

## 1 開館年月日

平成4年7月7日（1992年）

## 2 設置目的

- (1) 子どもたちの健全な育成を図るため、良好な遊び場と機会を提供する。
- (2) 市町村の児童館や児童育成団体とのネットワークづくりの拠点となるとともに、地域の事業を支援する。

## 3 施設の特徴

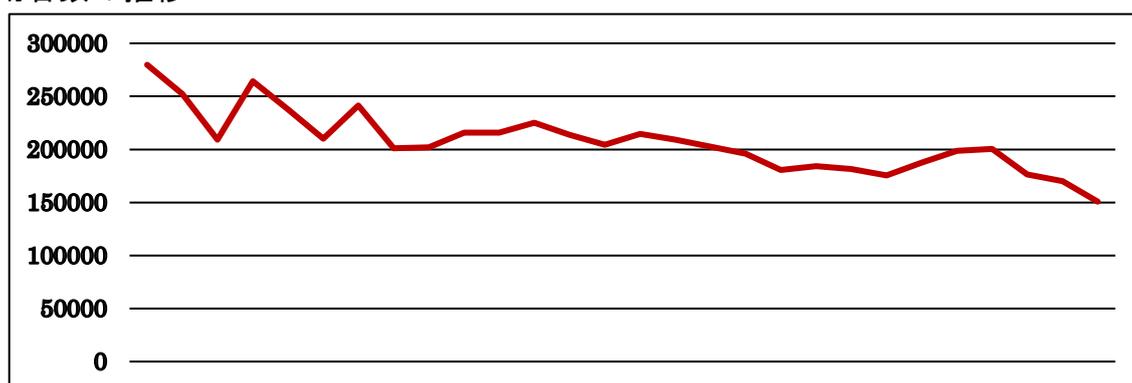
設計者：仙田 満氏（東京工業大学名誉教授・環境デザイン研究所会長）

## 【遊環構造】『遊びと環境の理論』

- ① 遊び環境としての循環機能があること。
- ② 循環動線が安全で変化に富んでいること。
- ③ シンボル性の高い空間や場があること。
- ④ 循環性に”めまい”を体験できる部分があること。
- ⑤ 近道(ショートサーキット)ができること。
- ⑥ 循環に広場や小さな広場などがとりついていること。
- ⑦ 全体がポラスな空間で構成されていること。

## 4 利用状況

## (1) 利用者数の推移



## (2) 利用者の特徴（アンケート調査から）

- ・リピーターが多い。（10回以上が半数を占める）
- ・子どもと大人の数に大きな差がない。（家族での利用が多い）
- ・富山市、射水市、高岡市からの利用者が多い。（全体の約7割を占める）
- ・子どもの数の内、乳幼児が占める割合が大きい。（小中学生20%・乳幼児35%）
- ・利用の主な理由

「大きな遊具がある」「広い空間で遊べる」「工作ができる」「入館料が無料」他

## 5 活動エリア

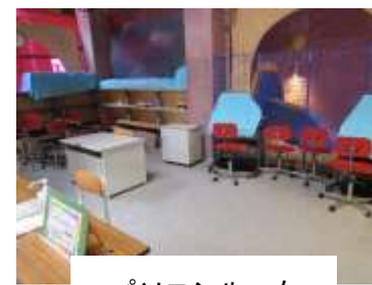
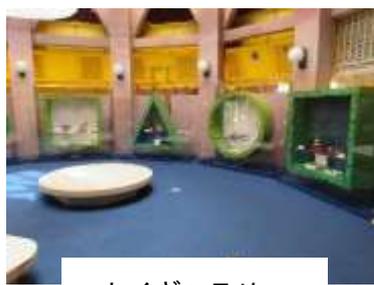
### (1) 館内見取り図



### (2) 1階フロアー



### (3) 2階フロアー



## 6 大型遊具

### (1) プレイトンネル (開館当初から設置のもの)



### (2) プレイカプセル (開館 10 周年記念で設置のもの)

